

サイエンスアーツ、アジラの AI 警備システム「AI Security asilla」と連携し、リアルタイムに通知を従業員へ届ける検知ソリューションを提供開始

警備員と AI の協業による省人化と警備の質向上を推進

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）は、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」と、株式会社アジラ（本社：東京都町田市 代表取締役 CEO 兼 COO 尾上 剛）の提供する AI 警備システム「AI Security asilla（以下、asilla）」と連携が開始されたことをお知らせします。この連携により、施設内の異常を検知してから対応までの時間を大幅に短縮し、警備業務の効率化が期待されます。

トランシーバーアプリ・Buddycomとの連携で巡回中も異常を把握



■連携によって実現されること

本連携では asilla で検出した異常行動や不審行動を Buddycom を通じて従業員に対して通知することが出来ます。これまで asilla で検知された警備事案は、メールもしくは防災センター内にいる人へのみリアルタイム通知が可能でしたが、Buddycom との連携により、Buddycom を利用する警備員やスタッフ個人へ直接、音声での一斉通知が可能になりました。これにより、事案発生場所に最も近いスタッフが迅速に対応できる体制が整い、通知を受信する場所の制約がなくなることで、より迅速な初動対応が可能となります。昨今の省人化により防災センターへの常駐のコストが高まる中、本連携を利用することでより柔軟な警備体制の構築を実現してまいります。

■AI Security asilla とは（ <https://jp.asilla.com/> ）

『AI Security asilla』は、世界トップクラスの行動認識技術を基にした AI 警備システムです。既存のカメラを AI 化し、異常行動や不審行動を検出したときのみ、瞬時に映像を通知します。映像をモニタリングする警備員の業務を軽減でき、見逃しや見落としも無くすることができます。

行動の検知・予兆の検知による防犯以外にも車いすや白杖利用者検知などの見守り機能、人に特化したデータ取得による、混雑状況の把握・人数カウントなど防犯カメラを使ったアプローチで、さまざまな空間価値を高めます。

■ Buddycom とは (<https://buddycom.net/>)



フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションができます。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」をミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 1,000 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 4 億円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://science-arts.com/>